

令和5年2月号

うつみ進学塾

# 東雲(しののめ)

vol.47(288)

2023年が始まって1ヶ月が経ちました。何となく、個人的に年末・年始の感じが薄い？ままでしたが、1月に寒い日を何日か過ごしていく中で、そして受験生たちの受験と「合格したよ」という知らせを聞いていきながら、新たな年の始まりを実感しています。

そして、暦の上では2月4日は立春で早くも春の始まりです。寒さは、まだまだこれからが本番というところですが、春も近づいてきていると知ると、少しうれしくなります。でも、人によっては、そろそろ花粉症に悩まされる季節も始まります。私自身は花粉症には無縁ですが、鼻づまりや咳など想像しただけでも不快になります。風邪と症状が似ている場合もあるそうですが、10日以上症状が改善されない時は花粉症の可能性が高いそうです。花粉症は原因がはっきりすれば予防や治療ができるということなので、早めに病院で受診しましょう。

そんな中、今年はコロナだけでなく、インフルエンザも流行しているようです。よく、「南極では風邪をひかない」といわれます。理由は「寒さでウイルスが生きられない」というもの。しかしこれは間違いで、そもそも人の交流が少ない南極ではウイルスに感染する機会が少ないからだそうです。逆にいえば、人が行き交う学校や地域社会は風邪をひきやすい環境にあるといえるでしょう。「屋外では条件を満たせばマスクを外しても良い」と、政府から指針が出されましたが、実際マスクは防寒にも役立つ一面もあります。暖くなるまでは、もうしばらくマスク着用と手洗いの徹底は続けた方が良いでしょう。



そして、体調を崩すことなく、健康に学校生活を送れることを願っています。学習面でも、この1年の総まとめを行う時期です。苦手な科目・分野でも、真正面から受け止めて学習してほしいと思います。

古代ギリシャの哲学者であるアリストテレスは弟子たちに「中庸(ちゅうよう)」という言葉を読ませました。この中庸とは、普段は使わない難しい言葉ですが、「物事の過大と過少のちょうど中間を見定める」という意味です。もう少し分かりやすく言うと・・・例えば、勇気とは「おくびょう」と「乱暴」のちょうど中間に位置する概念で、その勇気を行えば、人間は今より一段高い徳の次元に達することができる・・・すなわち、勇気を示せば今よりも素敵な人間になることができると、アリストテレスは人々に教えたのです。

勇気に関していえば、そうでしょう。しかし今、みんなに求められている、勉強に関して言えば、彼の教えがそのまま当てはまるとは思えません。勇気は自分の内から外に向かって発散するのに対して、勉強は自分自身の内面をみがきあげていくもの。みがけば、みがくほど、きれいになっていくのは当然で、人よりも少しでも多く勉強する時間を持つことで、周

りの人たちよりも一歩も二歩も先に進むことができます。たまに、「これ以上、勉強すると死んでしまう・・・」なんて言っている人がいますが、勉強のしすぎで死んでしまった人なんて、もちろん見たことも聞いたこともありません。だから、遠慮なく過大に勉強してください(笑) また、面倒くさがって勉強する人に成績の上った人はいないです。勉強するときは、数か月後の賢くなった自分をイメージしながら、机に向かうようにしましょう。そうすれば、覚えられないことも覚えやすくなりますよ。

2月にある学年末テストは、前回の定期テストから期間が離れていますのでテスト範囲が結構広くなっており、提出しなければいけない課題もたくさんありそうです。課題を終わらせてから、その中身をどこまで煮詰めることができるかで結果は大きく変わってきます。今学年の総まとめのテスト、しっかり準備しましょう。

2月は今学年の総まとめを行って、3月は来るべき新学年の準備をするのにあてるのが、この2カ月の理想的な過ごし方。良い結果が残せるように頑張りましょう。

今年も成人式の日。卒業した先輩たちが塾に晴れ着姿を見せに来てくれました。彼らの様子を見ていると、数年前は冬期講習で勉強しながら先輩を迎える子どもだった頃を思い出し、時間の流れの速さを思います。忙しい成人式の合間に、わざわざ顔を出してくれた人たち、ありがとうございました。

